

# 切り絵新聞

第89号 (会報誌技改称)

全国切り絵同好会発行

令和 3年 3月10日  
本部：群馬県利根郡川場村  
日本切り絵百景館内  
電話：0278-52-2022  
Fax：0278-52-2181

発行責任者 後藤 伸行

コロナ禍の衰退を予測して

令和四年四月九日より第九回切り絵大河コンクール入選展を

五月第三十回全国切り絵コンクールを開催！

昨年以来のコロナ禍は想像を越えつする影響をわが国にもたらした。

非常事態宣言によって、人と人との交流は断たれ、物も経済も停滞してしまつた。全国切り絵同好会が発足して三十年の記念の諸行事は中止とし、せつたかく準備した第九回切り絵大河コンクールの入選展は明年(令和四年)四月九日に開催をもちこさざるをえなかつた。空白ともいえる二年間、我々は切り絵の創作にはげみ、自分の実力をたかめなければいけない。しかし多くの会員からよせられる声は「創作に立ち向かう気力がわ

いてこない」というのである。

(新美術新聞)の報ずるところによれば緊急事態宣言の延長によって、国立新美術館、東京都美術館をはじめ、諸美術館の休館がつづき、春の公募団体の開催についてあやぶまれているという。

今われわれの心を覆う閉塞感をはらいのけ作品の創作に心を注ぐことは容易ではありません。

全国切り絵同好会の次のコンクールの開催についての問い合わせを受けるたびに、私は「力強い激励の声」と受け止めたのであります。

①今こそ三十年の足跡をふりかえり、会員の切り絵の表現力の蓄積を学ぶこと、

②令和四年に再開する全国切り絵コンクール、切り絵大河コンクールをめざし創作にあたるべきでありましょう。

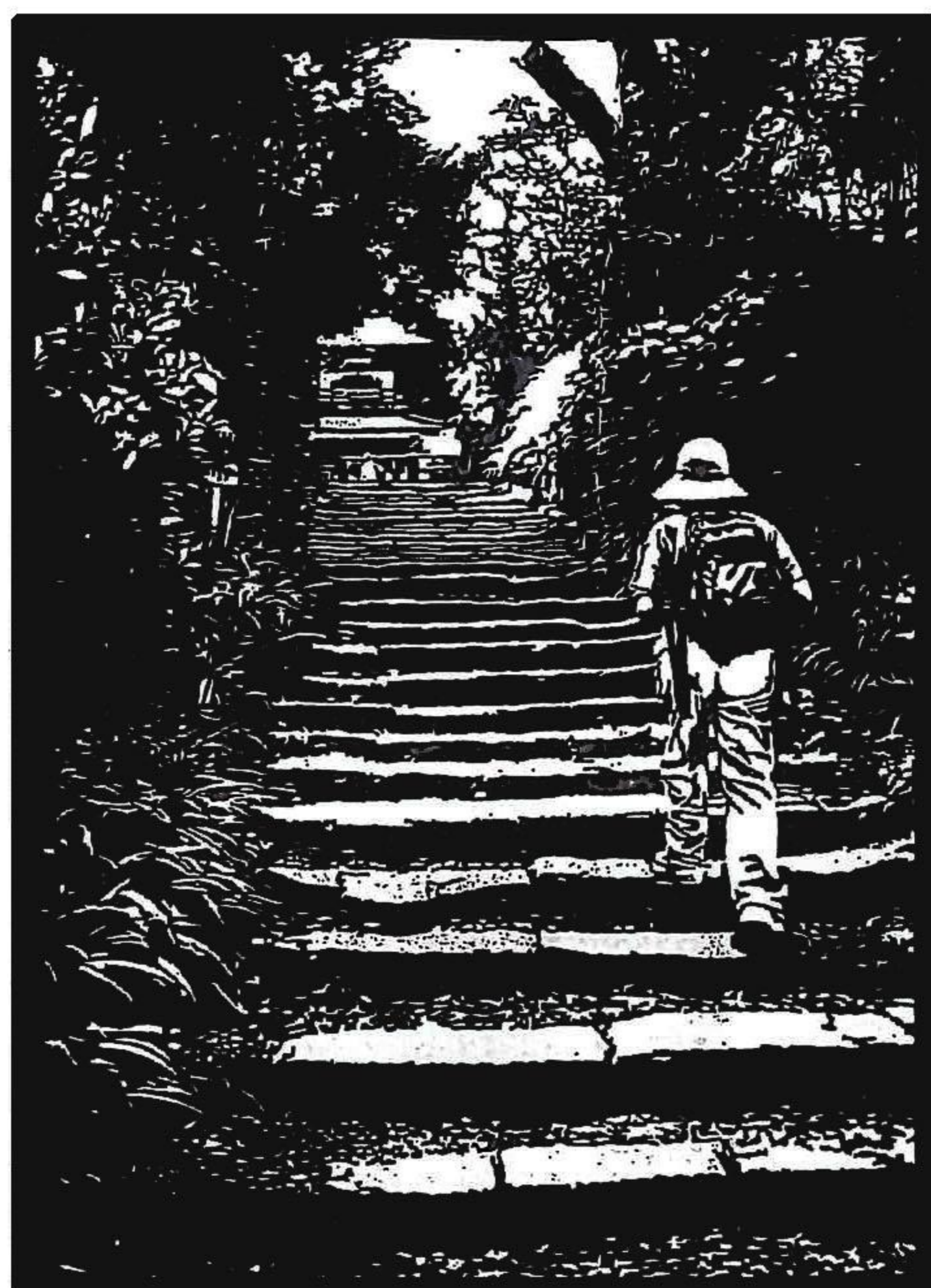
幸いにも、名取政一郎、河江文比呂両氏の作品を掲載した【切り絵のしおり】は好評でした。

引き続き桜井敏彦氏、山田好美氏の作品集を発行すべく準備を進めております。コロナ禍の終焉後の発展をめざし力を蓄えてゆきたいものです。

(後藤伸行)

切り絵のしおり第十五号

名取 政一郎作品集より



「節子がゆく」

2004年10月作

令和二年第九回切り絵大河コンクールの結果

☆加藤三郎氏(埼玉県朝霞市)

☆桜井敏彦氏(愛知県東海市)が切り絵芸術家協会に

加入いたしました。

切り絵のしおり第十六号

河江文比呂作品集を発行(令和三年二月一日)

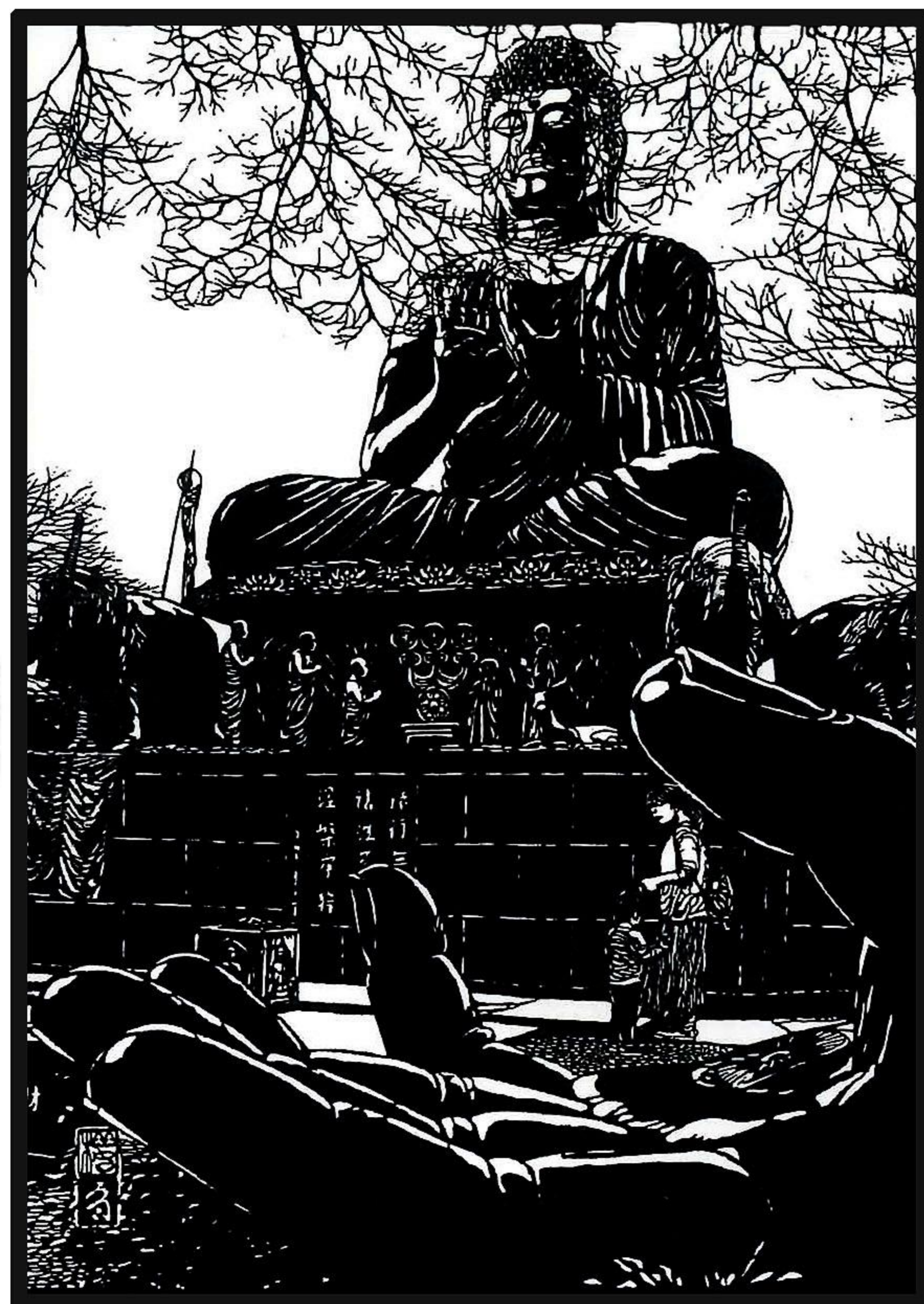
切り絵のしおり第十七号

桜井敏彦作品集を発行(令和三年四月十五日)



三日月 夜想 2010年5月

川場創作の里切り絵百景館  
二輝展優秀賞  
桜井俊彦 切り絵のしおり第十七号より



名古屋大仏 2020年3月

桜井敏彦 切り絵のしおり第十七号より

## 切り絵学習の指導

「切り絵を学びたい」と希望する方は、全国切り絵同好会の本部会員になり、修士、講師、準師範、師範の認定を受けて、表現力を高めてゆくことが大切です。修士は本部会員になって2年、講師は本部会員になって3年以上の経験を有し、全国切り絵コンクールに応募し、修士は2回以上順入選、講師は2回以上入選の実績を要します。

準師範は本部会員になって5年以上、師範は準師範として会勢の伸長につくしていることが認められて、(理事会の推挙により)就任いたします。認定の階段を上ることは学習のはげみとなります。

## 切り絵芸術家協会々員

本部会員になって8年以上の経験を有し、切り絵大河コンクールに6回以上入選を果たした方を切り絵芸術家協会に推薦いたしております。

現在「切り絵芸術家協会々員」は20名になりました。

令和元年6月19日～8月19日の期間、日本切り絵百景館において、第1回切り絵芸術祭【星のしづく切り絵展】を開催いたしました。

いよいよ「第2回切り絵芸術祭」と銘打って、しかるべき美術館で開催いたしたいと準備を進めることにいたしました。

高い目標に向かって精進することは、とても大切なことでもあります。

我々が受け継いだ切り絵の美術がいつまでも継承することを祈るものであります。

## 切り絵の魅力に

触れたよろこびよ!

### 切り絵と私

私が切り絵に出会ったきっかけは、今から三十年前主人と群馬県にりようこうに出かけた折に川場村に切り絵百景館があることを知り、そこをたずねたことにあります。そこで後藤先生とお会いし、切り絵についてのお話を聞いたり、作品を見せていただくうちに、自分の心に切り絵の創作に挑戦してみたいとの意欲がわいてまいりました。

そして常陽銀行主催の切り絵教室で学び、自分の作品を手掛けるようになりました。徳島県主催の国民文化祭に出品することを後藤先生にすすめられ、「洋画部門」に【左下り観音】カラー三十号を出品いたしました。結果は入選となり、さらに創作の励みとなりました。今は切り絵の楽しさを多くの人々に味わっていただくために、切り絵教室を開いたり、作品展の開催の為に努力を重ねております。

茨城県ひたちなか市

加藤恵美子

### 切り絵との出会い

今から三十年前のことです。主人の勤務先の方たち「髪を切つて楽しんで」と十センチ四方の「モクレンの花」のこぴーを持ち帰ってきたことでした

適当に切ってみました。できあがりはいまあまあ自己満足の世界でした。

幾年かか後、町報に「切り絵でうちわを作りませんか?」と募集がありましたので、早速申し込みました。

その時中田先生、森先生がいらつしやいました。瑞穂に切り絵同好会があることを知り入会しました。

森先生に誘われて会員の皆さんと一緒にバスで切り絵百景館をたずねました。

白と黒の世界の素晴らしさに驚きました。自分の作品を作つてみたいと思うようになり、中田先生、森先生に御指導を仰ぎました。体調不良もありましたが、庭の花のスケッチなどをしては気分転換をはかつて来ました。「切り絵をやめよう」と思ったことはありませんでした。

夢中になれるものがあれば、痛みや苦痛から一時ですが忘れられる幸せな時間です。切り絵は生きる力になっています。

一片の紙を通して多くの人達との出会いがあります。楽しみながら感謝を重ねこれらの人生をすごしたいと願つております。

東京都瑞穂町 山崎育子

### 切り絵との出会いそして今

今から十年前公民館の講座で、日光から群馬県方面への研修旅行に参加しました。その帰り道、切り絵百景館の建物を目にして予定もなく立ち寄りすることになりました。

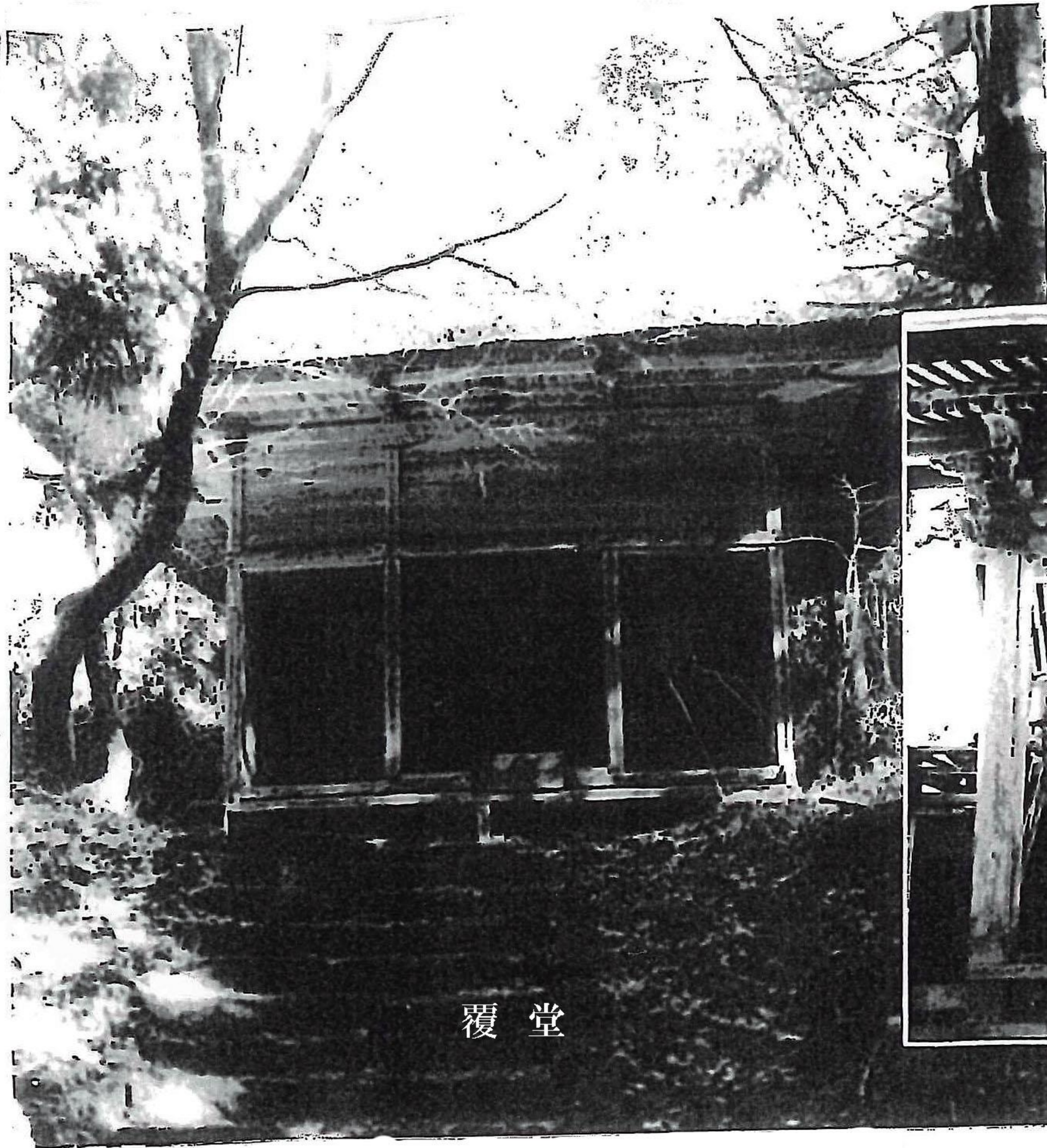
入館して素晴らしい切り絵の存在に感動しました。小川町には切り絵教室はありませんでしたが、後藤先生に遠路はるばるお越しいただいて学ぶことができました。数年後、東松山市在住の高島敏明さんから勉強する場所の提供を仰ぎ、今日まで、活動できたことはありがたいことでした。深く感謝いたしております。十年前埼玉県切り絵同好会をたち上げ、初代会長として働かせていただきました。

一年ごとの展示会に皆様が、努力し、技術を高めていることは、嬉しいかぎりです。

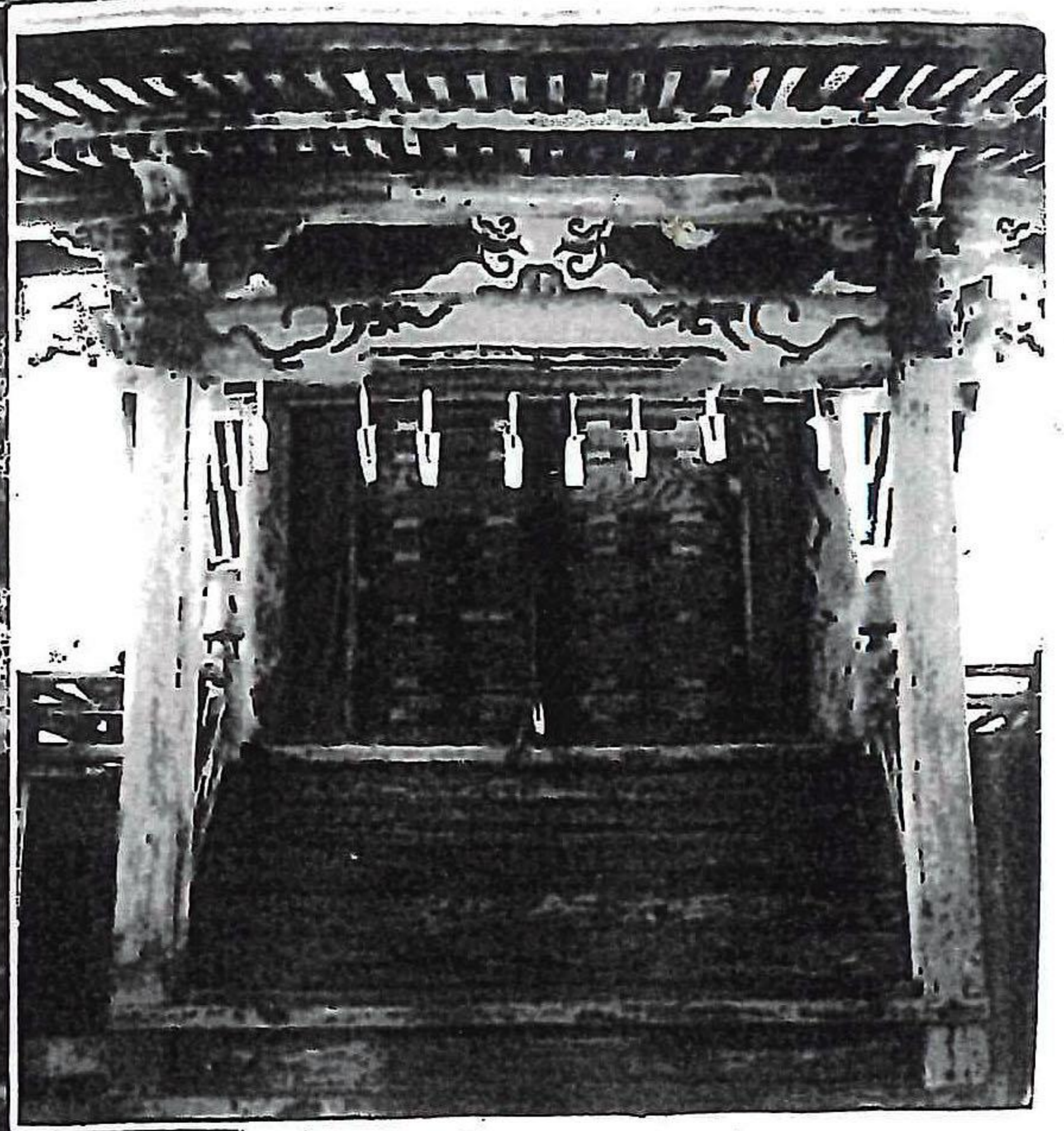
此れから一生の趣味、いきがいとして、広く世界に切り絵の楽しさをひろめてゆくことを夢にみております。

埼玉県小川町 戸田幸子

# 浅間神社



覆 堂



本 殿

(このはなさくやひめのみこと)  
祭神は木花咲耶姫命

切り絵百景館はバス停「ふじやま」から五百メートル離れた山の裾にあります。徳川時代には「ふじの森」と称された浅間神社の所有地は十二町四反に及ぶ広大なものでした。三百年前大日坊京仙大僧都という方が、富士山から土を持ち帰り、之を敷地に収めて社殿をたてたといわれています。

ご本尊は京仙権大僧都が刻んだ大日尊であります。浅間神社は川場の里の惣鎮守であったと伝えられております。

霊峰富士山の山頂には木花咲耶姫命祭られている浅間神社の奥の院があります。

安産、子育て、縁結びの守護神、防災の神様として木花咲耶姫命はあがめられてきました。川場の浅間神社は富士山の浅間神社の祭神を勧請奉斎し、近隣の人々からあがめられてきました。



浅間神社は山懐にいだかれ、神さびている。

石段を上がつてすぐ拜殿となる。覆堂の中に一間社流造の本殿がある。海老虹梁の反りは強く墓股、虹梁に見られる唐草模様などから江戸中期のつくりといわれている。

向拝の柱は、唐戸面、本殿の柱はまろく仕上げられ、正面の扉は棧唐戸にしてある。彫刻は質素であるが神々しい造りである。(村史より)

富士山を眺望できる山頂  
浅間神社から山道をたどって三十分程、川場ふじの山頂に立つことができる。ここからは駿河の富士山をみる事ができる。

かつては浅間神社から、切り絵百景館の脇を通り、別所にいたる山道があった。車道や駐車場を整備することは、ふじやまの集落のみならず、奥利根の紹介のためのポイントとなることでありましょう！